

今、我々が生きている世界は大きな変化の中にあります。科学技術の進歩・IT革命・グローバル化・グローバリゼーションの進展・新興国の台頭・地球温暖化の進行などの多面的な変化がもたらす大変革に直面しています。また、日本国内を見れば、少子高齢化社会の到来・人口減少社会への転換・混迷する経済・雇用の流動化など、我々の生活に直結する複雑で大きな変化が起きています。

新入社員の皆さんが社会に出るまさに今という時代は、このように「変化が常態化」している大きな転換期の中にあります。

新入社員として企業から期待されていること

この激動の時代を生き抜き、新しい時代に向けて新たな飛躍を成し遂げるために、知力を絞り、持てる力を結集し戦っているのが、皆さんが入社する「会社II企業」なのです。

では、企業が成長し続けるためには、どういった要因が必要となるのでしょうか？

この質問に対する答えとして最も本質を突いているのが、「パக்கードの法則」と言われるものです。IT大手ヒューレット・パックード社の共同創業者であるデビッド・パックード元CEOが唱えたもので、「企業の成長よりも人材の成長が勝っている企業は、どこまでも伸び続けることができ



る」というものです。このことは、逆の「企業の成長の方が、人材の成長よりも勝っている」状態を考えてみれば理解できます。その場合の企業成長は、実は自力によるものではなく、景気や他の要因による他力によるものであり、こういった状態の会社では、今後次々と襲いかかって来る変化の嵐を無事に乗り切れることは難しく、いつか頭打ちになる企業であると言えます。

つまり、この激動の時代を生き抜き、輝く未来を切り開けるかどうかは、ひとえに人材力の成長にかかっているのです。そして、これからの企業の人材力を大きく成長させる存在として、会社は皆さん新入社員に大きな期待を寄せています。

新入社員時代は慣れないこととの連続

このように皆さんは大きな期待を受けて入社するわけです

が、最初は戸惑うことばかりです。ここで冷静に、これからの皆さんが直面する現実を考えてみましょう。

これまでの人生においては、自分の周囲にいる人たちのほとんどが自分の上下数年の同年代でしたが、社会に出ると世代を越えた人たちと一緒に仕事をすることとなります。自分のお父さんどころか、お祖父さんに近い年齢の方々もいらっしゃると思います。

学生時代は友人と一緒にいる時間が長く、いわば自分での回りの人間関係を選ぶことができたわけですが、社会に出ればそういっわけにはいきません。上司も同僚も自分で選ぶことはできませんし、ましてお客さまを選ぶなんてことはできるはずがありません。つまり、気の合う友人とだけ付き合い合って、苦手な人とは付き合いわずに済ませることができた学生時代とは異なり、社会に出れば、気の合わない人・苦手な人も良好な人間関係を作り、維持しなければいけないのです。また、学生時代は、自分の時間をどのように使うか、何に



使うかを自分で決めることができたが、社会に出ると自分がすることを自分で決めることはできません。すべて指示に従って動かなければいけません。そして、そこにはその指示されたことをやり遂げなければいけない責任も伴います。

しかも、その指示されたことは皆さんにとって初めて行う仕事ばかりですから、上司・先輩から強い口調で言われることもあるでしょうし、お客さまからお叱りの言葉をいただくこともあるでしょう。

このように身の回りの環境が目まぐるしく大きく変わる新入社員時代は、誰しもが自分の置かれた環境を厳しく感じってしまうものです。

ここで避けなければいけないことは、自分を見失って安易に他の道を模索してしまうことです。心のバランスを失うことなく1年を乗り切り、3年を越える頃には自分の人生にとって大切ななにかが見えてくることでしょう。

これから迎える新入社員時代は、今後の人生の基礎を作るうえでもとても大事な時期なのです。

新入社員研修・OJT研修で学ぶべきこと

皆さんはこれから、自分の足で自分の人生を切り開く第一歩を踏み出し、目の回るような時期を過ごすわけですが、逆

に今のこの時だからこそ学べること・学ぶべきことがたくさんあります。

そのために会社は新入社員研修やOJT研修を準備してくれていることでしょう。この研修期間は、これからの皆さんのビジネス人生の軸となる大切なものを身に付ける貴重な機会なのです。

これから皆さんが臨む新入社員研修やOJT研修において学ばなければいけないことは、大きく二つあります。

一つは、「ビジネスの基本」です。例えば、ビジネスマナーや商取引に関する知識、あるいは挨拶の仕方などの知識やスキルの領域です。これらは、日々の仕事をすすめるうえで欠かせないものであり、どんなに時代が変化しようとも守らなければいけないものです。

では、「知識・スキル」があれば、それだけで長期に渡って高い成果を出し続けることができるのでしょうか？ 答えは、否です。確かに、成果を上げるためには「知識・スキル」



は欠かせません。かといって、「知識・スキル」だけでは、成果を上げることのできる時もあります。上げることもできない時もあり、バラツキが生じてしまいます。なぜなら、ビジネスの場が変化に満ちており、「知識・スキル」を使用する前段階の判断が重要になってくるからです。

仮に短期的に成果を上げることができたとしても、皆さんのこれから40年に及ぶ長いビジネス人生においては、ほんの一瞬の成功でしかないのです。大切なことは、常に高い業績を上げ続けることのできる人材になることなのです。

この高い業績を上げ続けることができるかどうかのポイントが、新入社員研修やOJT研修において身に付けるべき二つ目の「正しい考え方・正しい行動様式」です。これは、価値観や労働観といった深い部分ともつながってくるものです。変化が常態化している今の時代においては、直面している状況が常に変化し、前提そのものが目まぐるしく変わっていくため、常に状況に応じた判断や柔軟な正しい意思決定が求められます。正しい判断をすることができるか、あるいは正しい意思決定を下すことができるかといった源には、正しい考え方や正しい行動様式・価値観・労働観を身に付けているかどうかといったことがあるのです。

このように、これから新入社員研修やOJT研修を受ける新入社員の皆さんにとって、この研修期間中で「知識・スキル」を身に付けるだけに留まらず、「正しい考え方・正しい行動様式」を身に付けることがなによりも大切になるのです。